

民族の違いを越えて 共に生きる

～ 在日韓国・朝鮮人問題 ～ < 高等学校 >

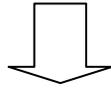
目的 韓国・朝鮮の文化や歴史を学ぶとともに、在日韓国・朝鮮人問題への関心を高め、民族の違いを越えて共に生きる態度を養う。

<気づく>

在日韓国・朝鮮人問題にかかわる フィールドワークを行う

- ・資料館や博物館等を見学する
- ・交流のゆかりの地を尋ねる
- ・祭やイベント等に参加する

在日韓国・朝鮮人問題に関わるフィールドワークを通して、人権学習への意欲を高め、主体的に学ぼうとする。



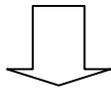
<広げる深める>

フィールドワークで学習したことをもとに 課題を追究する

自分のフィールドワーク先の学びや、他の班の学びをきっかけにして、課題意識を持って在日韓国・朝鮮人問題について追究する。

在日韓国・朝鮮人問題についての班別調べ学習

クラスでの中間発表会

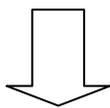


<計画する>

在日韓国・朝鮮人の方の講演を聞き 学年発表会にむけて準備する

フィールドワーク等を通して学んだ在日韓国・朝鮮人問題について、課題を整理する。
在日韓国・朝鮮人の方の話を聞き、課題解決を図ろうとする姿勢を明らかにする。

在日韓国・朝鮮人の方から話を聞き、課題を解決していきこうする自らの生き方を確かめる。

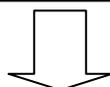


<実践する>

学年発表会をする

- ・ 班ごとの調べ学習を発表

在日韓国・朝鮮人問題を自らの生き方の問題としてとらえ、生活に生かそうとする。
在日韓国・朝鮮人問題をはじめあらゆる差別解消に向けてどう生きるかを考える。

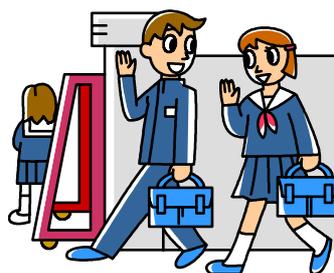


<振り返る>

これまでの学習を振り返る

- ・ 在日韓国・朝鮮人問題についてのアンケート
- ・ 韓国への修学旅行の取り組みに発展
（現地高校生との交流など）

これまでの取り組みを振り返り、民族の違いを越えて共に生きようとする。



【学習を進めるにあたって】

- ・ 韓国への修学旅行につなげていくことで、学習の効果を高めることができる。
- ・ 韓国への修学旅行がない場合でも、フィールドワークや聞き取りなど、生徒の主体的な学習を取り入れることで、ねらいを達成することができる。